

八中2年人権だより

徳島市 八万中学校
2年生 第5号
2023年7月10日
編集・文 吉成正士

7月5日(水)の総合の時間を使って、これまでしてきた平和学習や、沖縄の言語・文化・歴史について、学年全体人権学習に取り組みました。皆さんへの質問は、次の4つでした。

1. 平和学習を通じてどんなことを学び、どんなことを考えましたか。実際に戦争を体験した人から話を聞いたことはありますか。聞けるなら聞いておきましょう。どんな話でしたか。
2. あなたは、さまざまな戦争と何か関係しているでしょうか。どのように関係しているでしょうか。
3. 人はなぜ争うのでしょうか。戦争はなくせるでしょうか。どうすればなくせるのでしょうか。戦争にならないために必要なこと、争いをなくすためにできることがあるとすれば、それは何でしょうか。
4. もし身近に戦争が起こったら、あなたは戦場に行きますか。なぜ行きますか。行って何をしますか。また、なぜ行きませんか。行かずに済む方法はありませんか。

皆さんの発表のなかには、考えるレベルの高い発表もあり、大人のこちらうなも唖うなってしまうほどでした。今回も皆さんの感想を通して、あらためて学習の振り返りをし、皆さんの意識をもう一つ高く引き上げられればと思います。読んでみてください。

想像力が未来を変える

■私は今回の全体学習や平和学習を通して、戦争の恐ろしさや命の尊さをあらためて実感しました。私は平和学習のなかで特攻隊のことを動画で見たのが印象に残っています。その動画は体験した方にお話を聞くような動画で、その方がエピソードを語っている途中で泣いていて、それを見て私も自然と涙が出てきて、相手の気持ちになって相手の話を聞いたら、こんな感情になるのだと思いました。そして、そういう感情を大切に、まず第一に考えたら争いが減るような気がしました。

そして「3」のことなのですが、私は吉成先生のお話に出てきた「戦争をなくすためには」という質問に「想像力」と答えたお話が印象的でした。確かに想像力があれば、未来のことも、これをしたらどうなるのかも、想像力がなければできないことだと思いました。

戦争や争いは、必ずではありませんが、なくなるのは難しいと思います。それでも周りの人のことを考え、行動、発言をしたら、身近な争いは少なくなるのかなと思いました。(2組AK)

意見を交換し合い、教え合える仲間・友達

■私は今回の平和学習で、戦争をなくすためには自分の

行動や言動に責任を持ち、相手の気持ちを尊重し合うことが大切だと思いました。戦争が起こるのはそれぞれに意見を持ち、その意見が違くと「自分の方が正しい」と思い込んでしまい、争いにつながると分かりました。私の周りには戦争を体験した人がいないからこそ、知らない人こそ戦争について学び、戦争について意見を交換し合い、戦争について教え合う仲間・友達が必要なのではないかと思いました。

また、戦争を体験したことのない人が、奥村さんの言っていたように、戦争をしないと発言していると聞いて驚きました。ですが、戦争をしてしまうと、いま立っている、座っている場所が戦場になってしまう戦争の残酷さ、恐ろしさを知ったので、これからはバカにした言動、すれ違いから争いが起こらないように、人が人を思う気持ち、人間性などを普段の生活で身につけていきたいと思います。

(4組SY)

「沖縄ノート」を書かれ、またノーベル文学賞を受賞された大江健三郎さんが、「平和のために必要なことは想像力だ」と、おっしゃられています。特攻隊にかかわる当事者の思いに共感できるのは、皆さんのなかに、この「想像力」が働いているからではないでしょうか。もし戦争になれば、今皆さんが座っている「そこ」が戦場になります。その「想像力」を働かせることができれば、簡単に戦争に「是」とは言えないように思うのです。この「想像力」を、人と人をつなぐ「縦線」として、行動力に変えていけるかどうかのように思います。



しかしながら実は、平和学習も人権学習と同じで、大人になっていくにつれて、「意見を交換し合い、戦争について教え合う仲間・友達」がいなくなっていくように思います。今は学生だから、中学生だから、学ぶ機会もあって意識もありますが、しなくなると、途端に気持ちが薄れ、平和や戦争について興味・関心がなくなっていくように感じられるのです。つまり、自分事からどんどん離れ、他人事になってしまっているよ

うに感じられるのです。そのときこそ、自分が試されるのだと思います。それではいけないと思うからこそ私は、自戒を込めて8月6日にヒロシマに行くのです。「人権新聞」を貼るのです。毎日が、自分への挑戦なのです。

語り継げる一人になる

■私は今回の人権学習に参加して、戦争の恐ろしさを何度感じました。今日の話で出てきたように、私たちは戦争を体験していません。だからこそ、戦争について今回のようにしっかりと学んでいかなければならないと思います。そして、今日の話し合いに出てきたたくさんの言葉を忘れてはいけないと思いました。このように戦争、そして人権について学習を真面目に取り組んでいる人なら、人を傷つけ合う差別、いじめはしないとします。このような人が増えていくと、少しでもいじめ、差別、戦争は減るはずで、なので今回のような学習の場をこれからも大切にしていきたいです。

今回の人権学習では共感できる意見がたくさん出てきました。沖縄へ修学旅行へ行く日も近づいています。そこでは実際に見ることで、新しく感じる事、思ったことが増えると思います。その自分の思いを大切にしようと思います。そして、もっと戦争について深く学び、吉成先生も言っていたように、語り継げる一人になれたらいいと思います。(4組KY)

「その日」が近づけば近づくほど、テンションは上がるでしょう。みんな同じ。あたり前です。でも、それをコントロールしてくれるのが、それまでしてきた平和学習でないかと思えます。徳島という遠い地で考え、想像を膨らませること自体は大切なことです。でもそれも、実際に現地に行けば、それがどれだけ小さく薄いことか、「やはり実際に現地に行くことだ」と、気づかされる学びを体験するでしょう。その気づきを学んでください。

また、「想像力」は、「共感力」へとつながっていきます。私たち戦争を知らない世代が語り継ぐことは難しいかもしれませんが、せめて旅に出たら、その地の歴史に触れる場所を、出来事を、訪ねてみることで。広島に行ったなら広島平和記念資料館に、鹿児島に行ったなら知覧特攻平和会館に、友人と、家族と訪れるような旅のプランを立ててみてください。そうや



って「共感力」を育み、横線を、縦線に変えてみてください。

これから人権について学び、語り合うこと

■今回の人権学習を通して、あらためて戦争という、とても大きな犯罪について考えることができました。SさんやKさんが言っていました、「戦争をなくすにはまず、身の周りのケンカをどれだけ小さな状態で抑えるかが大事」「自分の感情をコントロールしたり、相手の言うことを理解したりすることが大事」というのは、本当にそうだと思います。だからこそ、線引きをはがしたり、線の向きを変えたりしなければならないのだろうと思いました。線引きについてあまり考えたことはなかったのですが、自分のなかにある線について考えてみると、私の中にもあります。そしてその中にも偏見が多く含まれているのだと思います。今すぐに偏見をなくせと言われても、それは無理に近い話ですが、これから人権について学び、語り合うことで、私が人を無意識に差別することは少なくなるのだと思います。

今回初めて発表してみました。とても緊張しましたが、私の言いたいことがみんなに伝えられてよかったです。

(6組OA)

多くの人の前で発表することは大変なことですね。大なり小なり勇気がいると思います。でも、その発表できる勇気を、皆さん全員に、しっかり育ててほしいと思っています。その勇気があれば、いざというとき必ず役に立ちます。それは自分の為であるし、もしかすると身近な人の為であるかもしれません。全体学習の場は、その勇気を身につける場でもあるのです。考えてみてください。もしかすると戦争に「NO!」と言うのだって勇気がいるかもしれないわけですから。でもそれを言わないと、戦争に突き進んでしまうかもしれないのですから。だからみなさん、勇気を持つことです。いざというときの為に。



そんな勇気を持つためにも、人権を語り合う中学生交流集会に参加しませんか？今年ヒロシマの日、8月6日の開催です。終業式までに直接吉成まで申し込んでください。詳しくは各教室のポスターをご覧ください！自分の人権意識を高めるため、徳島の人権意識を高めるため、共に参加しましょう！

**人権を語り合う
中学生交流集会+23**

1つの言葉で変わる！1つの行動で変わる!!
~前に進むその一歩が私たちの未来だ!~

日時	2023年8月6日(日) 10:00~16:10	日替	8:30~10:00	受付
会場	徳島市人権福祉センター	開会	10:00~10:30	開会
主催	「人権を語り合う中学生交流集会+23」実行委員会	閉会	16:00~16:30	閉会
		主催	16:30~17:00	主催
		協賛	17:00~17:30	協賛

〒760-0001 徳島市東区南町1-1-1 徳島市人権福祉センター
TEL: 087-821-1111 FAX: 087-821-1112

(6号につづく)